



# 今井小だより

横浜市立今井小学校  
令和 8年6月30日  
学校だより 7月号

学校教育目標 : か が や い て い る 子 「自分大好き!今井大好き!」

## 「土壌を大切に」

校長 高嶋 聡

梅雨空のもと、アジサイが色鮮やかに咲き誇る季節となりました。

「七変化」と辞書を引くと「アジサイの別名」とあるように、その花の色の変化は古くからよく知られています。株ごとに青・紫・白・ピンクとさまざまな色がありますが、同じ株でも、咲き始めは水色、やがて青、青紫、赤紫へと移り変わることもあるそうです。

この色の違いや変化は主に土壌によるもので、酸性の土では青系に、アルカリ性ではピンクや赤系になると言われています。土壌の酸度によって植物が吸収するアルミニウムの量が変わり、それが発色に影響するためです。環境を整えることで、同じ植物でも異なる花を咲かせるという点は、大変興味深いことです。

私は、このことは子どもたちの成長にも通じるのではないかと考えています。どのような環境（土壌）のもとで育つかによって、子どもたちが咲かせる花（成長の姿）は大きく変わります。家庭・学校・地域など、子どもたちはさまざまな環境の中で日々過ごしています。子どもたちのよりよい成長を願う気持ちは、保護者の皆様、学校、地域で共通のものだと思います。

学校においても、子どもたちを育む「土壌づくり」を大切にしていきたいと思います。言語環境をはじめ、人や物、食など、子どもたちを取り巻くさまざまな環境をより良いものにできるように努めてまいります。各ご家庭におかれましても、子どもを育むより良い環境づくりへのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、現在開催されているサッカーワールドカップでは、日本代表の選手たちが世界の強豪を相手に、最後まであきらめず戦う姿が大きな感動を与えてくれています。一人ひとりの高い技術に加え、仲間を信じてつなぐプレーや、チームとしてのまとまりの強さが非常に印象的です。

私自身、スポーツに親しみ、小学校では剣道、小学校高学年から高校まではバレーボールに取り組んできました。教員となってからは教職員のサッカーチームに所属し、40代半ばまで競技を続けてきました。共に練習し、試合を重ねた仲間や対戦相手とのつながりは、今でも私の支えとなっています。

スポーツの報道に触れると、選手たちの言葉に心を動かされることが少なくありません。自分を信じる強さ、目標に向かって努力を続ける姿勢、困難を乗り越えるたくましさ——そのような姿から多くの励ましをもらいます。また、選手の努力を支える周囲の存在が成長を後押ししていることにも気づかされます。私も一人の大人として、子どもたちが目標をもち、努力を重ねていけるように支える存在でありたいと考えています。

今回特に感じたのは、日本代表の「チーム力」です。交代出場の選手が活躍する場面などからも、チーム全体の総合力の高さが伝わってきました。学校という組織においても同様に、学級担任だけでなく、担任外の教諭、養護教諭、用務員、調理員、事務職員、栄養士、学校司書など、多様な職種の職員がそれぞれの力を発揮し、子どもたちのより良い成長という共通の目標に向かって連携しています。

今後も学校全体の「チーム力」を高めながら、子どもたちの成長を支えてまいります。